

学園新聞

発行所 京都大学新聞社
編集者 藤田 隆
印刷所 京都大学印刷局

戦争科学に従わぬ

第六回総会で態度表明

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学戦争科学研究会は、八日午後二時、同研究会会館で第六回総会を開き、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、研究会の活動状況、および、戦争科学の是非について、藤田会長が「戦争科学は、科学の本質を失い、人類の幸福を損なうものである」と述べ、戦争科学に従わぬ態度を表明した。

平和の旗掲げ

学生二千も参加

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学平和委員会主催の「平和の旗掲げ」運動は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、平和運動の意義、および、平和の旗掲げ運動の経過について述べた。報告後、藤田会長が「平和の旗掲げ運動は、学生二千も参加し、大成功を収めた」と述べた。



平和への一助

東大題子公助開講

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
東京大学題子公助開講式は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、題子公助開講の意義、および、題子公助開講の経過について述べた。報告後、藤田会長が「題子公助開講は、平和への一助となる」と述べた。

厚生施設の完備に驚嘆

全圖の最向表明は機会なし

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学厚生施設は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、厚生施設の完備状況、および、厚生施設の意義について述べた。報告後、藤田会長が「厚生施設の完備に驚嘆し、全圖の最向表明は機会なし」と述べた。

学生を食物に

地元に非難の再高し

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学学生を食物に運動は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、学生を食物に運動の意義、および、学生を食物に運動の経過について述べた。報告後、藤田会長が「学生を食物に運動は、地元に非難の再高し」と述べた。

自治意識の低下か

同窓会活動の不振

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学同窓会活動は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、同窓会活動の不振状況、および、同窓会活動の意義について述べた。報告後、藤田会長が「同窓会活動の不振は、自治意識の低下か」と述べた。

ヤン憲法は守られているか

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学ヤン憲法運動は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、ヤン憲法運動の意義、および、ヤン憲法運動の経過について述べた。報告後、藤田会長が「ヤン憲法は守られているか」と述べた。

輸入衣料に非難高まる

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学輸入衣料運動は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、輸入衣料運動の意義、および、輸入衣料運動の経過について述べた。報告後、藤田会長が「輸入衣料に非難高まる」と述べた。

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学平和委員会主催の「平和の旗掲げ」運動は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、平和運動の意義、および、平和の旗掲げ運動の経過について述べた。報告後、藤田会長が「平和の旗掲げ運動は、学生二千も参加し、大成功を収めた」と述べた。

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学厚生施設は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、厚生施設の完備状況、および、厚生施設の意義について述べた。報告後、藤田会長が「厚生施設の完備に驚嘆し、全圖の最向表明は機会なし」と述べた。

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学学生を食物に運動は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、学生を食物に運動の意義、および、学生を食物に運動の経過について述べた。報告後、藤田会長が「学生を食物に運動は、地元に非難の再高し」と述べた。

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学同窓会活動は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、同窓会活動の不振状況、および、同窓会活動の意義について述べた。報告後、藤田会長が「同窓会活動の不振は、自治意識の低下か」と述べた。

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学ヤン憲法運動は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、ヤン憲法運動の意義、および、ヤン憲法運動の経過について述べた。報告後、藤田会長が「ヤン憲法は守られているか」と述べた。

【本報記者 藤田 隆 東京八日通信】
京都大学輸入衣料運動は、八日午後二時、同研究会会館で開かれ、藤田隆会長が報告を述べた。報告は、輸入衣料運動の意義、および、輸入衣料運動の経過について述べた。報告後、藤田会長が「輸入衣料に非難高まる」と述べた。

科学と技術

科学の発展と技術の進歩
現代社会の発展を支える
理論社

学園通信

学園の最新情報
学生生活のガイド
学園新聞社

理想

理想の追求
理想社

政治学原論

政治学の本質
朝倉書店

学生動物図鑑

学生生活のガイド
南條書店

理想

理想の追求
理想社

アテネ新書

カトリシズムの歴史
現代哲学概説
弘文堂

最近の生物学

生物学の最新研究
朝倉書店

政治学原論

政治学の本質
朝倉書店

学生動物図鑑

学生生活のガイド
南條書店

物理の科学

物理学の本質
朝倉書店

理想

理想の追求
理想社

比類なき緻密な論理構成

——佐々木憲法への一瞥——

鈴木 俊 著

憲法論の巨匠、佐々木憲法氏の著書『憲法論』は、戦後日本の憲法思想に多大の影響を与えた。本書は、その著書の中から、比類なき緻密な論理構成を特徴とする『憲法論』の論議の骨子を、平易な言葉で解説する。佐々木氏は、憲法の基礎となる原理を、歴史的・論理的に深く掘り下げ、その論議の骨子を、平易な言葉で解説する。佐々木氏は、憲法の基礎となる原理を、歴史的・論理的に深く掘り下げ、その論議の骨子を、平易な言葉で解説する。



1940年頃のソ連兵。V.スリコフ(1906-1916) 戦時中制作のこのほかにも大戦後期にモロワロ戦の戦果がある。

打出す「反戦」の響き

父母と祖父母のため

関川 秀雄

「反戦」の響き、打出す。父母と祖父母のため。戦争の残酷さを伝えるための教育。戦時中、子供たちは戦争の残酷さを伝えるための教育を受けた。戦争の残酷さを伝えるための教育。戦争の残酷さを伝えるための教育。

無國境の世界を

技術が敵心昧方か

坂田 一郎

技術が敵心昧方か。無國境の世界を。技術が敵心昧方か。無國境の世界を。技術が敵心昧方か。無國境の世界を。

新七き知性の鏡に

科学技術

坂田 一郎

科学技術。新七き知性の鏡に。科学技術。新七き知性の鏡に。科学技術。新七き知性の鏡に。

人民大衆の音楽

須藤 五郎

人民大衆の音楽。須藤 五郎。人民大衆の音楽。須藤 五郎。人民大衆の音楽。須藤 五郎。



道徳神

道徳神。新七き知性の鏡に。道徳神。新七き知性の鏡に。道徳神。新七き知性の鏡に。

花より団子を

学壇うらもて記

坂田 一郎

学壇うらもて記。花より団子を。学壇うらもて記。花より団子を。学壇うらもて記。花より団子を。

留學生

梅田 浩二

梅田 浩二

留學生。梅田 浩二。留學生。梅田 浩二。留學生。梅田 浩二。

留學生。梅田 浩二。留學生。梅田 浩二。留學生。梅田 浩二。

留學生。梅田 浩二。留學生。梅田 浩二。留學生。梅田 浩二。

留學生。梅田 浩二。留學生。梅田 浩二。留學生。梅田 浩二。

脳研究

創元社

創元社

脳研究。創元社。脳研究。創元社。脳研究。創元社。

脳研究。創元社。脳研究。創元社。脳研究。創元社。

脳研究。創元社。脳研究。創元社。脳研究。創元社。

脳研究。創元社。脳研究。創元社。脳研究。創元社。

脳研究。創元社。脳研究。創元社。脳研究。創元社。

脳研究。創元社。脳研究。創元社。脳研究。創元社。

脳研究。創元社。脳研究。創元社。脳研究。創元社。

脳研究。創元社。脳研究。創元社。脳研究。創元社。

現代日本小説大系

永井荷風

永井荷風

現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。

現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。

現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。

現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。

現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。

現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。

現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。

現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。

現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。現代日本小説大系。永井荷風。